

平成27年度 事業報告

I 継続事業

2. 国際協力事業

① JICA課題別研修「アフリカ地域アグリビジネスの振興と農村開発（B）」コース 研修員受入事業

＜7月23日（木）～9月9日（水） 49日間 於：滝川市内外＞

昨年度から受託している本事業は、アフリカフランス語圏3か国（コンゴ民主共和国、コートジボワール共和国、マダガスカル共和国）より6名の研修員を受け入れ、元北海道農業改良普及員 峯岸 三枝子氏、木下 初子氏、酪農学園大学 教授 阿部 茂氏の指導の下、食品加工の基礎から学んだ。また、ファームキッチンフジタ、中村農園、中野ふぁ〜む、滝川市社会福祉事業団滝川新生園、國學院大學北海道短期大学部、滝川西高校、空知農業改良普及センター中空知支所、JAたきかわ等滝川市内外の関係機関のご協力の下、実習・視察等を実施した。



また8月8日（土）にはファームビジットを行った他、8月29日（土）には「インターナショナルファンデー・イン・サマー」にも参加し、国際性豊かな市民活動の醸成に寄与した。

（当協会受託研修期間は、7月24日（金）～9月7日（月）までの46日間）

受入人数：7名（研修員6名、随同行1名）

- 合同歓迎会：8月29日（土） 於：滝川ふれ愛の里バーベキューハウス
参加者数：70名（一般参加者55名、ボランティア・スタッフ15名）
- 送別会：9月7日（月） 於：ホテルスエヒロ
参加者数：23名（一般参加者19名、ボランティア・スタッフ4名）

② JICAモザンビーク国別研修「農村振興・技術セミナー」コース研修員受入事業

＜8月12日（水）～9月20日（日） 40日間 於：滝川市内外＞

モザンビーク対象としては通算5年目、本コースとなってからは2年目を迎えた本事業は、派遣国側の要望を可能な限り組み込み、改良を加えて、現地農業改良普及員8名を受け入れた。



空知農業改良普及センター中空知支所、中央農業試験場遺伝資源部、ノザワ農場、ホクレン滝川種苗生産センター、空知土地改良区、花・野菜技術センター、JAたきかわ、拓殖大学北海道短期大学、江部乙農産物加工研究会手作りの家とまと、中村農園、野口ファーム、滝川地方卸売市場、暑寒の森道づくり研究所、（有）大橋さくらんぼ園、中村果樹園等で実習・視察等を行った他、元北海道農業改良普及員 峯岸 三枝子氏、木下 初子氏から農産品加工の知識や技術についてもご教授頂いた。

また9月5日（土）には市内外3家庭へのホームビジットを行った他、8月29日（土）には「インターナショナルファンデー・イン・サマー」にも参加し、多文化共生社会の醸成に寄与した。

（当協会受託研修期間は8月17日（月）～9月18日（金）までの33日間）

受入人数：9名（研修員8名、随同行1名）

- 合同歓迎会：8月29日（土） 於：滝川ふれ愛の里バーベキューハウス
参加者数：70名（一般参加者55名、ボランティア・スタッフ15名）
- 送別会：9月18日（金） 於：ホテル三浦華園
参加者数：38名（一般参加者32名、ボランティア・スタッフ6名）

③ 第7回ベトナム・カンボジアスタディツアー

＜平成28年1月4日（月）～11日（月） 8日間
於：カンボジア王国、ベトナム社会主義共和国＞

今年度は滝川高校から3名、滝川西高校から2名が参加し、実施した。カンボジア王国シェムリアップ市では、滝川高校卒業生で元青年海外協力隊員の田中 千草氏が代表を務める「アナコットカンボジア」と連携し、同団体が家庭内暴力や人身売買から女性や子どもを守るために所有しているシェルターに3日間滞在し、現地の人々との交流を深めた。

特に同団体が教育支援を行っている子どもたちと共に行った「アンコール遺跡群」、「アキ・ラー地雷博物館」訪問、貧困家庭の女性の自立を目指して実施している「縫製プロジェクト」での新商品開発（ブレスレット、キャラメルポーチ）のための縫製交流等では、現地の人々と例年にも増して密接に関わることができ、参加者がより一層主体的に学び、考えることにつながった。

ベトナム社会主義共和国では、ベトナムYMCA 総主事 ロック・ルー氏の協力により、枯葉剤等の被害を受けたとされる子どもたちを療養する「ティエンフックセンター」を初めて訪問し、子どもたちと折り紙等で交流を図った他、昼食の食事補助等を経験した。

参加者数：6名（高校生5名、随員1名）



④ 滝川高校「カンボジアゆめプロジェクト」支援事業

当協会の「ベトナム・カンボジアスタディツアー」をきっかけに、平成21年度からカンボジアの子どもたちを支援するため、滝川高校生徒会並びに国際交流部が主体的に進めている「カンボジアゆめプロジェクト」を支援した。

⑤ JICA青年研修「モルディブ／職業訓練教育」コース研修員受入事業

＜平成28年1月18日（月）～2月4日（木） 18日間 於：滝川市内外＞

アフリカ・モルディブ共和国より9名の研修員が来滝し、國學院大學北海道短期大学部、北日本自動車大学校、滝川市社会福祉事業団滝川新生園、滝川公共職業安定所、滝川工業高校、滝川西高校、（一社）中空知地域職業訓練センター協会、滝川クリエイターズショップ 匠 キミノアカリで研修を行い、職業訓練教育と人材育成について理解を深めた。

また1月24日（日）には市内外3家庭へのホームビジットを行った他、29日（金）には滝川市立滝川第三小学校を訪問し、30日（土）には当協会イベントの「English Camp」にも参加し、国際性豊かな市民活動の醸成に寄与した。

（当協会受託研修期間は1月19日（火）～2月2日（火）までの15日間）

受入人数：10名（研修員9名、随員1名）

○ 送別会：平成28年2月2日（火） 於：ホテル三浦華園

参加者数：54名（一般参加者49名、ボランティア・スタッフ5名）



⑥ 当協会前会長川口義弘氏北海道社会貢献賞受賞

＜平成28年1月25日（月） 於：北海道庁＞

当協会設立時より理事等をお務め頂き、平成23年5月からの4年間は会長としてご活躍いただくなど、長年に渡ってご尽力頂いた、川口 義弘氏が、これまでのJICA研修員受け入れや、市民との交流機会の創出などの多大なるご功績により、北海道社会貢献賞（国際協力功労者部門）を受賞した。受賞式には、現会長水口 典一氏並びに事務局職員らが列席した。

⑦ 身近なものによる開発途上国支援

＜随 時＞

企業、団体、個人の皆様からご寄贈頂いた書き損じはがき、使用済切手、インクカートリッジ等を開発途上国支援に役立てた。

○ ご寄贈頂いたもの

・使用済みインクカートリッジ（バラ買い139個、重量買い0.8kg） 3,305円

- ・使用済み切手
- ・書き損じはがき

24.4kg

9,220円

⑧ NGO等支援事業

滝川高校OGで元青年海外協力隊員の田中 千草氏が代表を務める教育支援団体「アナコットカンボジア」から委託を受け、当協会がアナコットグッズを販売した他、「北海道NGOネットワーク協議会」やマラウイ共和国等を視察した市民から成る「滝川マラウイクラブ」、ケニア共和国を支援している「山口ケニアを知る会」等、開発途上国を支援しているNGO団体への支援・協力等を行った。